

Lifting The Burden

in official relations with
the World Health Organization (WHO)

The Global Campaign against Headache

HURT 質問表 (頭痛の治療に対する反応性について)

頭痛に対してあなたが受けている治療法は最善ではないかもしれません。
この短い質問表にお答えいただくと、治療を改善するのに役立ちます。

これらの質問に慎重にお答えください。

各行のボックスに1つだけチェックを付けてください。

1	過去1カ月の間に頭痛は何日ありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		なし	1-2	3-5	6-15	16+
2	過去3カ月の間に、頭痛で仕事、勉強または家事をするのが困難だった日は何日ありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		なし	1-5	6-10	11-20	21+
3	過去3カ月の間に、頭痛で家族の行事、社会的活動、余暇活動が困難だった日できなかった日は何日ありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		なし	1-5	6-10	11-20	21+

分析 (これらの質問は、現在の治療下でのすべての頭痛の頻度、および生活に支障を来す頭痛の頻度を確定します。右側にチェックが付くほど治療の見直しの必要性が高くなることを意味します。)

すべてのチェックが白い範囲にある

頭痛のコントロールが良好：見直しは不要。

薄い網掛けの範囲に1つ以上のチェックがある

頭痛に対するより良い急性期治療が必要である；指針として、質問4~8を再確認；予防薬は必要でないかもしれない。

中程度の網掛けの範囲に1つ以上のチェックがある

頭痛のコントロールが良好でない；質問4~8を再確認し、急性期治療薬を最適化する；頭痛の頻度を減らす方法を考慮する（頭痛の引き金となる要因を回避し、予防薬を開始する）。

濃い網掛けの範囲に1つ以上のチェックがある

生活に支障を来す頭痛があり、治療薬が奏功していない；慢性連日性頭痛の可能性あり（急性期治療薬は回避すべきである）；質問4~8を再確認し、頭痛頻度を減らすことを考慮する。

4 過去 1 カ月の間、頭痛を軽減するために治療薬を何日間使用しましたか。（予防薬は含めないでください。）

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
なし	1-4	5-9	10-15	16+

5 頭痛薬を使用した時に、1回の服用で頭痛が解消しそのままなくなりますか。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いつも	よく	ときどき	まれに	決して
あるそうなる				ないそうなら
				ない

6 頭痛はコントロールされていると感じますか。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いつも	よく	ときどき	まれに	決して
ある				されてい
る				ない

7 副作用を嫌って、頭痛薬を服用しなかったり、遅らせたりしますか。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決してない	まれにある	ときどきある	よくある	いつもある

8 あなたの頭痛は何と診断されましたか。この診断を理解していますか。（ボックスに 1 つチェックを付けてください。）

診断の内容をここに記載してください：

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
はい	いいえ

分析（これらの質問は、現在の治療方法がどのように改善されうるかを示唆しています。）

Q4：回答は質問 1 と一致すべきです。治療薬の使用日数が 5～9 日の場合、薬剤の使用過多のリスクの可能性があります。治療薬の使用が 10 日を超える場合、薬剤の使用過多による頭痛（薬物乱用頭痛）のリスクが高くなります。

患者に治療薬の使用過多のリスクと危険性について助言してください。情報の記載されたパンフレットを渡してください。使用頻度を減らすことを考慮してください（誘因を避けず、予防薬を開始する）。

Q5：チェックが右にいくほど有効性が低くなることを意味します。

各国のガイドラインにしたがって、より早期の治療、または治療薬、投与量、投与ルートの変更、あるいは併用療法を考慮してください。

Q6：この質問は、自己効力感と満足度に関連しています。回答はこれまでの回答と一致している必要があります。

回答が網掛けの範囲にある場合、質問 1～6 での回答理由をさがしてください。理由が明らかでなければ、共存疾患の可能性を考慮します。回答が一致しない場合、認知行動療法による介入および患者の過度の期待を調整することを考慮してください。

Q7：チェックが右にいくほど忍容性が低くなることを意味します。

治療薬または投与量の変更を各国のガイドラインに沿って考慮してください。

Q8：この質問は患者教育に関連していま

常に適切な情報が記載されたパンフレットを渡してください。診断が

す。

誤って告げられたか、または回答が「いいえ」の場合、さらなる説明が必要と思われます。

The translation and dissemination of these PRO tools is made possible thanks to independent medical educational sponsorship from Eli Lilly and Company. Neither Springer Healthcare IME nor Eli Lilly and Company have had any influence over the content.